

経済学専攻【博士後期課程】

時 期	項 目	内 容・目的等	
入学前 (入学試験時)	指導教員決定	●面接試験（希望する指導教員を含む3名の教員により行う）において研究計画案を確認 ●専攻委員会および研究科委員会にて入学試験可否とともに指導教員を決定 ●必要に応じて、副指導教員を決定	
1 年 次	4月上旬 4月	研究科主催ガイダンス 研究計画の確認	●研究科長・専攻長による大学院での学修に関する基本的事項の説明 ●指導教員による研究計画の確認
	5月～3月	指導教員の演習科目の履修	●研究計画に基づく研究実施 a) 研究報告会（経済研究所主催の八事セミナー等）における報告 b) 国際的ないし全国的規模の学会等における報告 c) 学術論文の執筆と投稿
	4月	博士論文構想報告会での報告	●経済学専攻主催「博士論文構想報告会」にて報告し、博士論文を構成する研究構想の承認を得る
2 年 次	5月～3月	指導教員の演習科目の履修	●研究計画に基づく研究実施 a) 研究報告会（経済研究所主催の八事セミナー等）における報告 b) 国際的ないし全国的規模の学会等における報告 c) 学術論文の執筆と投稿
	4月	研究計画の確認	●指導教員による博士論文の構成確認
3 年 次	5月～11月	指導教員の演習科目の履修	●博士論文の作成 ●研究計画に基づく研究実施 a) 研究報告会（経済研究所主催の八事セミナー等）における報告 b) 国際的ないし全国的規模の学会等における報告 c) 学術論文の執筆と投稿
	12月	博士学位請求論文の提出	●学位論文の提出（学位授与申請） ●12月専攻委員会・研究科委員会にて受理審議 ●学位審査委員会を組織 （3人以上を学位審査委員とする。うち1名が主査、他は副査とする。）
	12月中旬 ～2月	博士学位請求論文の審査	●博士論文の審査 ●1月末～2月初旬：博士論文の内容、関連科目の学識、および研究能力に関する口頭試問の実施 ●2月専攻委員会・研究科委員会 学位審査委員会は審査の概要を記した書面を付して、所定の学位審査報告書を研究科委員会に提出し、研究科委員会はその報告に基づいて、可否を審議決定する

※上記は予定であり、内容及び時期を変更する場合がある

※学位審査の詳細については「中京大学大学院経済学研究科経済学専攻学位審査に関する内規」に定める。

総合政策学専攻【博士前期課程（修士課程）】

時 期	項 目	内 容・目的等	
1 年 次	4月	研究科主催ガイダンス 研究構想報告会	●研究科長・専攻長による大学院での学修に関する基本的事項の説明（1時間程度） ●上記ガイダンスの後、研究構想報告会に参加
	10月	研究構想報告会	●研究構想報告会に参加
	4月	研究構想報告会	●「研究構想報告」を必ず行う
2 年 次	9月	修士論文指導アドバイザー決定	●指導教員とは別に修士論文の指導を行うアドバイザー1名を専攻委員会で決定
	10月	研究構想報告会	●「研究構想報告」を必ず行う
	10月～12月	インフォーマルセミナー参加	●インフォーマルセミナーに参加し、「研究報告」を必ず行う
	1月	修士論文提出	●指導教員の了解を得て、期限内に修士論文を大学院事務課に提出 ●専攻委員会で3人以上の学位審査委員会を組織する（1名が主査、他は副査とする）
	2月	最終審査	●主査および副査による口頭試問を含む最終試験を実施 ・最終試験は、修士論文の目的・背景・成果について発表し、評価を受ける。 発表20分、質疑等20分とする ・最終試験の評価40点（要24点以上）、修士論文の評価60点として評価し、合計60点以上を合格とする
3月	可否決定	●専攻委員会および研究科委員会において審査報告、審議決定	

※上記は予定であり、内容及び時期を変更する場合がある

※学位審査の詳細については「中京大学大学院経済学研究科総合政策学専攻学位審査に関する内規」に定める。